

第4回

社会福祉機器展

老人のリハビリ・モデルルーム企画展示

1977(昭和52)年11月25日～28日

東京都立産業会館(大手町)

- 福祉施設での省力化のための機器、障害者のための補装具、自助具、寝たきりの高齢者の介護用品、保育所での遊具・教材まで広範囲に展示、年々、改良・開発が進んだ
- 「試作・研究コーナー」には、特別展示「老人のリハビリテーション・モデルルーム」を設置(企画協力:東京大学医学部付属病院 上田 敏 氏など)
- いわゆる「寝たきり老人」問題が社会的に深刻となり、「寝たきりは、できるものでなく、つくられるものである」との考え方のもと、特別養護老人ホームを中心に、「どこでもできるリハビリテーション」、「明日からでもすぐにできるリハビリテーション」と題した展示と専門家による解説と実演、ビデオなどを紹介



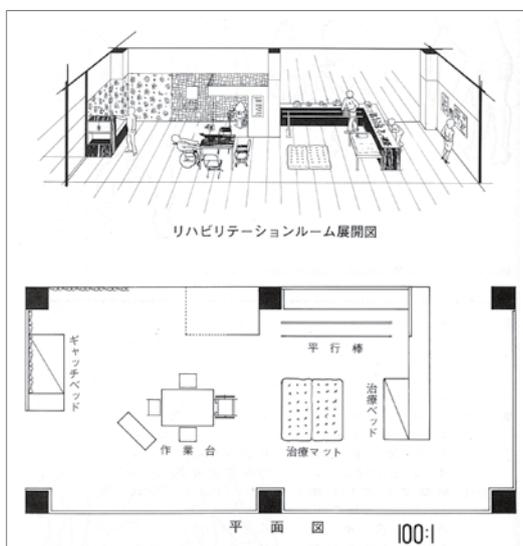
[第4回 ポスター]

主催 全国社会福祉協議会 厚生省

来場者数 8,681人

出展社数 55社

◆5階展示会場



老人のリハビリ・モデルルーム

▶ 1972年 「在宅老人機能回復訓練事業実施要綱」、在宅老人のリハビリテーションの必要性を提示